

令和5年度 事業実施状況報告書（事業報告書）  
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

## 1 会員総会

### (1) 令和5年度 定時会員総会

- 1) 日時 令和5年6月15日(木) 午後1時30分
- 2) 場所 全酪連役員会議室 東京都渋谷区代々木 1-37-2 酪農会館 2階
- 3) 議事
  - 第1号議案  
令和4年度事業報告書・貸借対照表・正味財産増減計算書に関する件
  - 第2号議案  
令和5年度会費及び賛助会費の額並びに納入方法決定に関する件
  - 第3号議案  
定款の一部変更に関する件
  - 第4号議案  
令和5年度役員報酬等の支給に関する件
  - 第5号議案  
任期満了に伴う役員改選（選任）に関する件

### (2) 令和5年度 臨時会員総会

- 1) 書面決議日 令和5年10月26日(木)
- 2) 議事
  - 第1号議案 欠員理事の選任の件

選任(理事)	退任(理事)
八木岡 努	折原 敬一(副会長)
小椋 茂敏	串田 雅樹(理事)

## 2 理事会

### (1) 令和5年度第1回理事会

- 1) 日時 令和5年5月25日(木) 午後12時45分
- 2) 場所 全酪連役員会議室（酪農会館2階）
- 3) 議事

#### 第1号議案

令和5年度定時会員総会議事に付すべき事項の決定の件

### (2) 令和5年度第2回理事会

- 1) 日時 令和5年6月15日(木) 定時会員総会終了後
- 2) 場所 全酪連役員会議室（酪農会館2階）
- 3) 議事

#### 第1号議案

会長、副会長、専務理事の選定に関する件

(3) 令和5年度第3回理事会

1) 書面決議日 令和5年7月25日(火)

2) 議事

第1号議案

事務局長の任免に関する件

(4) 令和5年度第4回理事会

1) 書面開催日 令和5年10月5日(木)

2) 議事

第1号議案

臨時会員総会の開催の件

(5) 令和5年度第5回理事会

1) 書面決議日 令和5年11月9日(木)

2) 議事

第1号議案

副会長の選定に関する件

(6) 令和5年度第6回理事会

1) 日時 令和6年3月4日(月) 午後1時

2) 場所 全酪連役員会議室(酪農会館2階)

3) 議事

第1号議案

令和5年度事業実施状況の報告に関する件

第2号議案

令和6年度事業計画書及び収支予算書に関する件

第3号議案

「文書管理規程」及び「会計処理規程」の改定に関する件

第4号議案

令和6年度定時会員総会の日時及び場所並びに議事に関する件

### 3 監事監査(令和4年度末)

(1) 日時 令和5年5月18日(木) 午後1時30分

(2) 場所 酪農会館会議室 東京都渋谷区代々木1-37-2

### 4 令和5年度事業概況

新型コロナウイルス感染症対策の5類移行に伴い、これまで制約を受けてきた集合研修等も従来どおり行えることとなった。各事業の実施状況については以下の通りである。

#### (1) 一般事業

## 1) 酪農ヘルパー要員確保と事業の普及推進活動

利用組合の酪農ヘルパー要員の確保を支援するため、当協会のホームページを活用して酪農ヘルパーに関する情報を積極的に発信するとともに、利用組合の要請に基づいて「酪農ヘルパー募集」の求人情報を掲載した。

都道府県団体や利用組合の活動に関する情報を提供するため、当協会ホームページに「ヘルパー組合の活動紹介コーナー」を設けて随時更新するとともに、(一社)全国酪農協会が発行する全酪新報、全農酪農経営体験発表会、全国酪農青年女性酪農発表大会及び全国農業新聞などに対して酪農ヘルパーに関する広告を掲載した。

## 2) 会長表彰事業

都道府県団体や利用組合などの推薦に基づき「ヘルパー事業に貢献した団体や優れた技術を持つ酪農ヘルパー等」に対して、毎年12月に開催する酪農ヘルパー事業中央研究会のなかで会長表彰を行った。酪農ヘルパー事業の推進に大きな貢献のあった利用組合役員(1名)、地域でベテランヘルパーとして活躍されている酪農ヘルパー(12名)がそれぞれ表彰され、その模様はYouTube動画として編集し当協会ホームページから視聴できるようにした。

## 3) 会員団体等との事業活動連携

ア. 会員団体等と酪農ヘルパー事業に関する情勢報告やヘルパー要員確保などに関する意見交換を行うとともに、今年度も農林水産省中央畜産技術研修会への講師派遣を実施した(11月44名参加)。

イ. 会員団体などに対して、酪農ヘルパー事業の推進情報として「メールマガジン」を定期的に発信した。

ウ. 12月6日に開催した酪農ヘルパー事業中央研究会の内容を中心に、今年度の活動を「酪農ヘルパー情報」にまとめ、3月に発刊した。

## 4) 酪農ヘルパーの養成活動

ア. 3年以上の経験を有する酪農ヘルパーを対象に「酪農ヘルパー中級者研修」を2月の第4週、北海道農業協同組合学校(JAカレッジ)において実施した(参加者7名)。

イ. 新人酪農ヘルパーの定着化のキーマンである中堅酪農ヘルパーを対象に、指導力の向上を図るための「中堅酪農ヘルパー指導力向上研修」を札幌(10月6名参加)、福岡(1月8名参加)、仙台(2月5名参加)の3会場で開催した。この結果については3月に検討会を開催し今後の施策について協議した。

ウ. 酪農ヘルパーの職業体験として、10月に全農長野八ヶ岳牧場において「酪農体験実習」を実施した(参加者1名)。

## 5) 業務中の傷害時補償制度の推進

臨時ヘルパーの出役中(往復途上含む)の事故傷害に対応するため「臨時酪農ヘルパー傷害保険(普通傷害)」の加入手続き及び加入促進を図った。

参加 都道府県数	利用組合数	加入 ヘルパー人数	保険料実績 総額(千円)
36	229	521	1,823

#### 6) 酪農技術養成研修時の傷害保険料の補助(当協会主催に限る)

研修期間中の事故傷害や損害補償に対応するため、国内旅行傷害保険に加入し保険料については全額当協会が負担している。

今年度の実施は以下の通りとなった。

- ア. 初任者研修 (65名)
- イ. 中級者研修 (7名)
- ウ. 酪農体験実習(1名)
- エ. 学生インターンシップ (5名)
- オ. 中堅酪農ヘルパー指導力向上研修 (19名)

## (2) 酪農経営支援総合対策事業「酪農経営安定化支援ヘルパー事業」

(独立行政法人農畜産業振興機構 公募事業)

酪農ヘルパー要員の確保育成、ヘルパー利用組合の組織強化など、酪農ヘルパー事業を総合的に推進し、持続可能なゆとりある酪農経営に資する目的で以下の事業を推進した。

### 1) 酪農ヘルパー利用実態調査の実施

酪農ヘルパー事業の充実を図るため、令和5年8月1日現在の酪農ヘルパー利用組合の事業概況及び令和4年度の酪農ヘルパー利用実績に係る調査を実施した。この結果は速報値(未定稿)として12月に発信し、確定値については「酪農ヘルパー利用に関する資料(冊子)」としてまとめ、3月に会員、都道府県団体、利用組合及び関係機関に配付した。

### 2) 酪農ヘルパー事業の広報活動

当協会のホームページでは「酪農ヘルパーの具体的な仕事内容」や「就業に至る流れなど」を紹介するとともに、各地の酪農ヘルパー募集情報や学生インターンシップの受入情報などについても発信している。また、酪農ヘルパー要員の確保や職業認知度の向上に資するため、学生インターンシップの募集ポスターを作成し各地の農業大学校や動物関連専門学校など約120先に配付した。

メディアへの対応としては、酪農ヘルパーの職業認知度向上の一環として、農業スタイルの多様化に伴い、特に若年層のアクセス数が期待できる農業系メデイ

アサイトに記事広告として掲載するとともに、2月中旬～3月中旬の間、Instagramにも広告を掲載した。

また、酪農ヘルパーの募集支援活動として、農業の魅力と仕事を紹介する「新・農業人フェア 2023（7月・9月池袋サンシャインシティ、11月大阪ハービスホール、1月東京国際フォーラム）」へ出展するとともに、動物系専門学校の卒業生が酪農ヘルパーへ就業する事例が増えている状況を踏まえ、東京・大阪・福岡・大宮にある動物系専門学校を訪問し、酪農ヘルパーについての周知や意見交換を行った。

更に、今年度は、会員団体等が主催する以下の3箇所の研修会等に講師を派遣し、酪農ヘルパー事業をめぐる情勢を説明するとともに、酪農ヘルパーの要員確保などについて意見交換を行った。

- ① 11月27日 栃木県酪農ヘルパー研修会（参加者46名）
- ② 3月8日 岩手県酪農ヘルパー要員・事務局研修会（参加者33名）
- ③ 3月11日 全酪長野協議会・研修会（参加者24名）

### 3) 人材コンサルタントを活用したヘルパーの採用・定着の促進

これまで3組合に対して実施した人材コンサルティングの結果を基に、酪農ヘルパー要員の確保と定着化に関する課題の整理及び解決策について取りまとめた報告書を作成し、都道府県団体及び各利用組合に共有した。

### 4) 酪農ヘルパー専門技術員養成研修(初任者研修)の実施

搾乳を中心とする酪農家作業の代行業務や新規就農などに向けた技能の蓄積及び向上に資するため、新人の酪農ヘルパーを対象に「酪農ヘルパー専門技術員養成研修(初任者研修)」を実施した。

今年度の実施内容は以下のとおり。

#### ア. 1週間コース

(ア) 5月 ホクレン農業総合研究所 訓子府実習農場（北海道訓子府町）  
（参加者9名）

(イ) 5月～6月 北海道立総合研究所 酪農試験場（北海道中標津町）  
（参加者8名）

(ウ) 6月 全酪連酪農技術研究所（福島県矢吹町）（参加者3名）

(エ) 7月 北海道立総合研究所 畜産試験場（北海道新得町）（参加者13名）

(オ) 10月 ホクレン農業総合研究所 訓子府実習農場（北海道訓子府町）  
（参加者8名）

(カ) 1月 北海道農業協同組合学校（北海道江別市）（参加者10名）

#### イ. 2週間コース

(ア) 11月 中国四国酪農大学校（岡山県真庭市）（参加者14名）

### 5) 優良事例発表会の開催

当協会では酪農ヘルパー事業の普及・啓発を図るため、優良事例を紹介する「酪農ヘルパー事業中央研究会(優良事例発表会)」を平成14年度から実施している。

今年度においても、会場設定の都合等もあり、web配信を併用して開催し、163名が参加した(会場及びWeb参加の計)。

取組事例として「酪農ヘルパーが知っておくべき作業安全(農研機構・志藤博克氏)」、「酪農ヘルパー事業における人材確保と業務改善について(酪農とちぎ農業協同組合・齋藤克彦氏)」及び「酪農ヘルパーになって思うこと(福岡県酪農ヘルパー利用組合 専任ヘルパー・上間葵氏)」の3氏が発表した。

また、酪農ヘルパーから新規就農した事例としてビデオ収録放映により、福島県の渡邊大介氏が新規就農の経緯や将来の目標等について発表した。この模様はYouTube動画として当協会ホームページから視聴できるようにした。

#### 6) 学生インターンシップ(全国型)

酪農ヘルパーの職業認知度の向上やヘルパー要員の確保を図るため、獣医畜産学系の大学生を対象に、独立行政法人家畜改良センター岩手牧場の協力を得て、「学生インターンシップ研修」(参加者5名)を実施した。

### 5 会員の動向(令和5年度)

区分	会員			賛助会員
	中央団体	都道府県団体	合計	
期首	13	44	57	12
期末	13	43	56	12
増減	0	-1	-1	0

福井県酪農農業協同組合連合会が令和6年3月31日付で解散に伴い退会した。

### 6 役職員の動向(令和5年度)

区分	役職員(受入出向含む)	臨時職員	合計
期首	3	2	5
期末	4	1	5
増減	+1	-1	0

(末日付けの退職者は本年度減少に含む)